

令和元年度 地域づくり部会 振り返り・評価シート

R2年2月10日作成

【活動方針】

地域生活支援拠点等の「専門的人材の確保と養成」、「体験の機会と場」機能の検討・検証を行う。

【取り組み内容】 ※具体的な活動内容及び結果を記載する

| | | | |
|------|----|-----|--------------------|
| 開催回数 | 8回 | 開催月 | 5、6、7、9、10、11、1、2月 |
|------|----|-----|--------------------|

・今年度は「専門的人材の確保と養成」と「体験の機会と場」の2つについて検討した。
・「専門的人材の確保と養成」について、障害者支援施設、生活介護事業所、短期入所事業所、共同生活援助事業所(バックアップ施設)を対象に、各事業所における研修会の開催と参加状況の実態調査を実施。事業所内、外それぞれで必要な取り組みと、行政で必要な取り組みについてをまとめた。
・「体験の機会と場」について、指定特定相談支援事業所を対象に、地域生活支援拠点等で求められている体験の機会が必要と思われるニーズに関する実態調査を実施。ニーズはあるが長岡市には機会と場がなく利用できないという実態が確認できた。

【メンバーの感想・意見（協議会活動を通じての振り返り）】

協議会での活動を通じての成果や気付き、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、協議会の運営や体制に関する課題・意見等。

・目的がぶれることなく、部会が進んだ印象。
・2つを同時に検討できたことがよかった。
・どちらも実態調査を通じて、実態やニーズの確認と把握ができて良かった。
・行政として、法人への説明会などをどのように進めていくかを考えていかなければいけないと感じた。また、担当職員以外は、自立支援協議会や部会、地域生活支援拠点等に対して意識が低いように感じるため、今年度中には共通認識が持てるように周知を図っていきたい。
・委託の事業所、支援係、基幹センターがそれぞれの役割機能をおさえた上で、協働していけると良い。
・体験の機会と場、専門的人材の確保と養成は、今後も継続してみたい必要性を感じるが、部会としてどういった形で関わっていくかは分からない。
・緊急時の受け入れ対応は、災害時のことも含めて考える必要性を感じた。それには地域づくり部会だけではなく、市の関係機関にも入ってもらいたい。

協議会の機能： 情報機能、調整機能、開発機能、教育機能、権利擁護機能、評価機能

【来年度の取り組みについて】

| 継続する場合（モニタリングも含む） | |
|-------------------|---|
| 活動方針（案） | 地域生活支援拠点等の整備の全体の方向性および整備に向けた具体的取り組み内容を決定する。 |
| 取り組み内容 | <ul style="list-style-type: none">・5つの機能について、検討協議してきた現状について、内容をまとめる。・法人に向けた説明会と協力依頼。 |
| 引き継ぎ事項等 | <ul style="list-style-type: none">・他の部会やワーキングに発信できる機会を作れると良い。また基本的に施策を策定するのは行政が主導となるため、部会としては施策の方向性が出たうえで、部会で取り組む事項の確認をしていく。・令和2年度末の体制整備に向けて、相談体制部会や地区担当制の動きを確認しながら進めていく。併せて、令和3年度からの第6期福祉計画を視野に入れていく。 |

| 終了する場合 | |
|--------|--|
| 理由等 | |